

要旨

目的

近年地球温暖化が深刻な問題となっている。二酸化炭素削減がうたわれている現在、大学生が個人としてどのような防止策を行えるか、効果的なソフト対策の考察を行う。

方法

日本の大学生 508 名、中国の大学生 315 名の大学生を対象とし、ライフスタイルに関するサンプリング調査を行った。そして、調査データに基づいて集計・分析を行い、二酸化炭素削減に貢献できるソフト対策を考察する。

結論

地球温暖化という、日々の生活の中で実感がむつかしい問題に対して、世界全体で努力を行うことは簡単なことではない。しかし、環境教育の方法や、世界に広がるインターネットを利用したプロモーションで環境問題に対する意識を向上させることで将来的に大きな成果につながると思う。大量消費の社会の中で、資源の再利用は持続可能な社会をつくる上で必須項目であり、資源回収に対する意識の向上も大切だと感じた。